

## サヨリ2そう曳網漁業導入試験（漁業士育成事業）

主任専技 金城 宏

### 1. 要約

サヨリ2そう曳網の導入試験は、普及事業の一環として漁業士育成事業で実施した。試験は伊江漁協所属の漁船を用船し、漁場は伊江ビーチ東側沿岸域の水深10～15mに網を投入し2隻の船で一つの網を曳き30分で揚網したが、サヨリの出現はみられず5cm程のアオリイカ3尾と流れ藻が多く入網していた。

### 2. 目的

本県沿岸域では、ホシザヨリ（カカギラー）、センニンサヨリ（ユシバー）、クルメサヨリ（ミジバイユー）の種類がある。特にホシザヨリは高値で取り扱われている。主に定置網で混獲されているがサヨリを対象とした漁具ではない。

鹿児島や大分では古くからサヨリを対象とした2そう曳網漁業が行われていることから、平成7年3月に、鹿児島県の錦江漁協に県漁業士2名と普及職員が技術交流会で実地研修を行っており、その結果を実証するために漁具を導入し、漁獲試験によってサヨリ資源の解明を図る。

### 3. 教材及び方法

サヨリ曳網は袖網、袋網、曳ロープで構成され、網地の材質はテグスである。袖網の長さは22m、袋網は17m、袋網の高さ約1.50m、曳ロープは30mである。サヨリは海面近くを遊泳するので網は海面を曳く、投網時には2隻の船を接舷して走り、投網が終了すると両方の船は離れて20m程の間隔を保つように両方の船にロープをつなぎ曳網する。

試験実施に当たった協力者

伊江漁業協同組合

宮里義高・宮里義雄・宮里一樹・宮里徳茂・

渡久地政廣

### 4. 結果

試験操業海域は伊江ビーチ東側沿岸域の水深10～15mで午後4時50分に漁具を投入し、2隻で約2ノットのスピードで30分曳航し、スピードを落として両方を接舷し、止めてから入力で揚網した。1回の漁獲試験を試みたがサヨリの出現は見られず、5cm程のアオリイカ3尾の入網であった。

### 5. 考察

サヨリのなかでもホシザヨリ（カカギラー）は胴体が太く、県内市場では高値で取り扱われている高級魚である。ホシザヨリの産卵時期等の生態は明らかにされていない。聞くところによると北風（ミーニシ）の吹く11月頃から3～4月の時期に海藻の繁茂している沿岸域に蛸集が見られるとのことでした。

今回の漁獲試験は、4月になって実施したこともあって時期が多少遅れて実施したことから成果が得られなかったと思われる。また購入したサヨリ網の規模は30馬力の網地であることから、それ以上の馬力数で約4～5ノットのスピードが必要であるが、今回の両曳航船は30馬力以下で約2ノットの曳航力でしかなかったことも成果を得ることが出来なかった要因であると思われる。

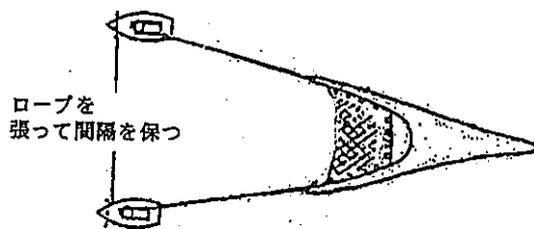
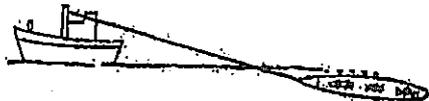
鹿児島でのサヨリの漁期は2月中旬から4月中旬、漁場は水深3～10m付近のアマモのある沿岸域で行われ、漁期は短いが価格はキロ当た

り3,500~10,000円で取引され、この地域における主たる漁業となっている。

平成9年度の本県4漁協（名護、金武、石川、勝連）のホシザヨリの市場水揚げは838kg、1,153千円で平均1,400円を取り扱われているが、地域によっては2,000円を取り引きされている。水揚げ量の多い月は10月から3月であるので、その時期を基準にして漁場を選定し漁獲試験を何回か実施して漁業の可能性について解明する必要がある。

### 漁法

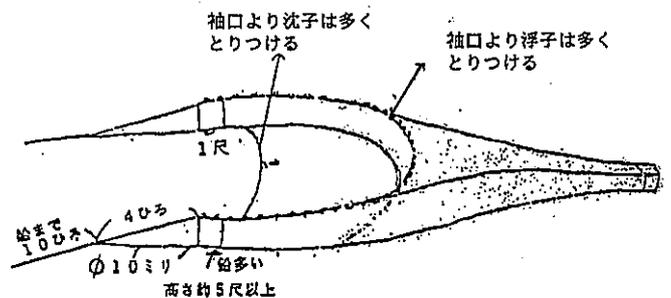
2隻の船で一つの網をひく（朝~夕方）。サヨリは海面近くを遊泳するので網は海面をひく。投網等は2隻の船は接舷して走っているが、投網が終了すると両方の船は離れて10~20mの間隔を保ってひき網する。ひき網時間は10分~60分である。



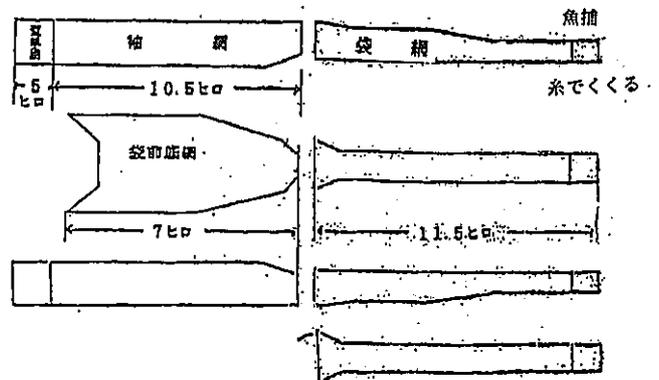
### サヨリひき網漁業（カコ機）

#### \*漁具

名称	品質	規格・数量	備考
袖網	荒手網	テグス 5.5節 長さ5ひろ	片側
	袖網	テグス 6号、10節 10.5ヒロ	片側
袋前底網	テグス	6号、11節 7ヒロ	
袋網	テグス	6号、12節 7ヒロ	
	ナイロン	18本、16節 1.5ヒロ	
浮子	合成S6	130個	
沈子	船51号	145個(1個 60~100匁)	全部で 40kg
曳ロープ	ポリ4.5分	約20ヒロ	



- ・曳ロープは短いほど魚は逃げないが網は広がらない
- ・2隻の船間距離は約20m



### 漁期

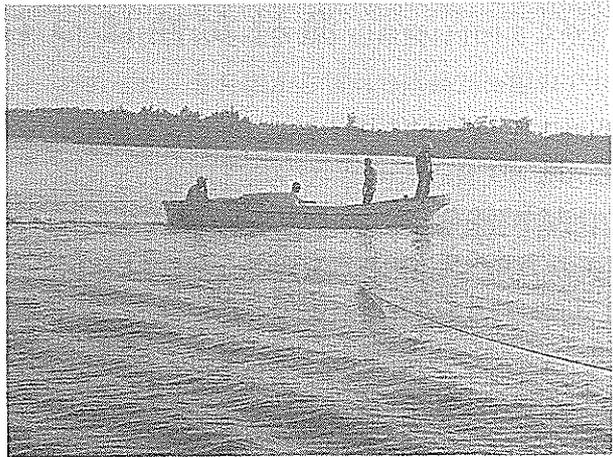
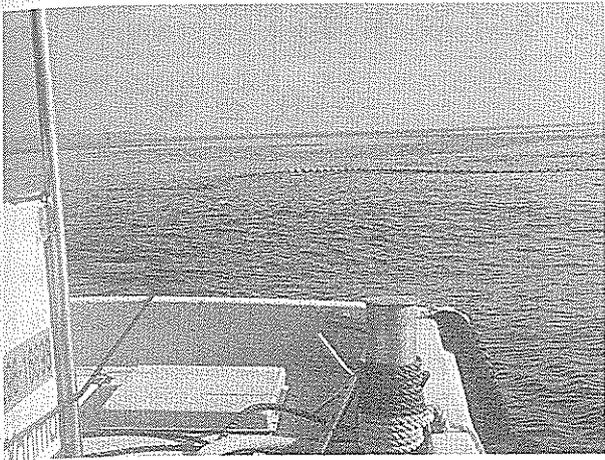
漁期は11月~4月の間であるが、各漁業により時期が異なる。

指宿市岩本漁協は1~3月（または4/10まで）

漁獲物 サヨリ

### 漁場

共同漁業権内の水深5m以浅が主たる漁場である。



1. サヨリを対象とした2そう曳による操業風景



2. 流れ藻が大量に入網（サヨリ入網なし、アオリカ3尾の入網であった）